

たかまつ

学校の教育目標

●自ら学ぶ子

●思いやりのある子

●たくましい子

<https://www.nerimo-tky.ed.jp/takomatsu-e/>

新年度に向けて充実した春休みを

生活指導主任

本年度は、体育祭、高小フエスナイバルに加え、新しい行事として学習発表会を行いました。1、2年生は学年で舞台発表を、3年生から6年生は88のグループに分かれて、自分たちで教科やテーマを決めて調べ学習と発表を行いました。発表会場では、発表者と1年生から6年生までの間き手との間で、活発に質疑応答が行われ、また生活指導面では、今年度から登校班を廃止しました。また、生活指導に関わる「学校のきまり」について、現状の児童の実態に合った内容になっていくかという視点で、見直しを行っています。常に新しい視点をもって、児童がよりよい環境で学び、生活できるように、学校全体で取り組んでいます。本日、各担任から一人一人に通知表を渡しました。親子でご覧いただき、学習や生活の面での成長を認め、たくさん褒めてください。また、もっと伸ばしたいところ、もう少し頑張った方がよいところも話し合い、新年度の目標としていただければと思います。

春休み中の安全な生活の仕方や新学期への準備につきまして、下記の事項を参考にいただき、各ご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。

1 春休みのめあて（※春休み中は、校庭開放はありません。）

- (1) 卒業・進級にあたり、新しい目標を立てる。
- (2) 健康・安全へのよりよい習慣を身に付ける。
- (3) 地域の人たちと交わり、豊かな社会性をもつ。

2 春休みの過ごし方

- (1) 身の回りの整理整頓をする
・通知表や作品等を整理する。 ・学用品の補充や新学年・氏名の記名をする。
- (2) 新学期の目標を立てる
・前学年までの自分の学習課題を振り返って、自主的に学習する。
- (3) 健康・安全に気を付ける
・交通安全に気を付ける。特に、自転車の乗り方、道路の歩行、信号がない交差点の横断等。
※万が一、事故等が発生したときには、警察への連絡後、学校にもご連絡ください。
・早寝、早起き、しっかりと食事と自分に合った体力づくりに取り組む。
・感染症予防対策等を踏まえた健康管理に留意する。
・不審者に注意（防犯ブザーの携行）する。
・災害発生時は、落ち着いた行動や適切な対応をする。
・スマートフォンやSNS、タブレット等は、適切な使い方を守る。（ぜひ、親子で確認してください。）
※タブレットは使用して構いませんが、学びポプケツトは3月25日までしか使えません。春休みから、メンテナンスのため、約1か月程度使用できませんのでご承知おきください。万が一、春休み中に紛失や破損、故障などがありましたら、新年度に担任までご連絡ください。
(4) 約束を守って、楽しく遊ぶ。
・出かけるときは、家の人に行き先・帰る時刻を伝える。
・地域の公園で遊ぶときは、公園の約束を守って遊ぶ。
・ゲームセンターやカラオケボックス、遊園地などに、子供だけで行かない。
・友達同士で、お金や物をおごったりおごられたりしない。
・道路や、人の家・建物・敷地内・駐車場で遊ばない。

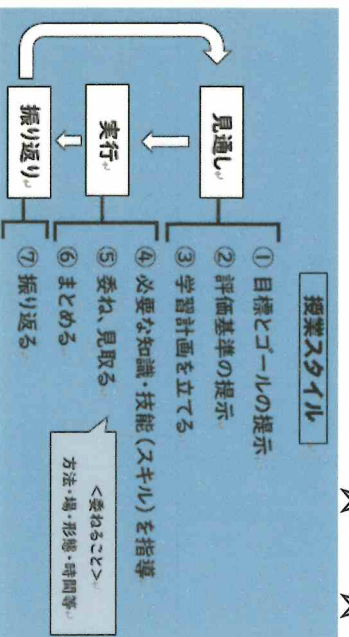
3 新学期の登校について

- 始業式児童登校 4月7日（月）8時15分
- ※各学年とも、新クワースの発表があるので、8時15分には、校庭に到着していきましょう。
- 始業式校長先生の話、学級担任の発表、学級指導（新2年生・新6年生のみ入学式に参加）
- 児童下校…新3～5年生 9時25分頃 ・新2年生 10:30頃 ・新6年生 11時00分頃

新学期の予定が変更になる場合には、sigfy及び学校ホームページでお知らせいたします。

☆☆☆ 研究主題 「児童が自ら学びを進める、授業スタイルの研究」の実践を終えて ☆☆☆

今年度は、自ら学びを進める児童を育成するため、昨年度の研究成果を生かし、右のような授業スタイルを取り入れ研究を進めてきました。全学年共通で「ふり返りカード」を使用し、自分の学びを振り返ったり自己評価したりしながら学習を進められるようにしました。また、教師も児童もフアンシリテータ力を高めるべく、教員研修を行ったり、「あいづちのわざカード」やフアンシリテータのやり方を書いたカードを配布したりしました。「自分に合った学び方を選択していただけますか。」の設問には95%の児童が、「自己評価しながら学びを進められますか。」の設問には87%の児童が肯定的な回答をしました。来年度も質の高い教育活動になるよう研究を深めていきます。



～ ふり返りカード ～

★学習内容

①何が分かったか、
②何が分からなかったか、
③考えたことは、
④もっと学習したいことは、

★学習計画

⑤今日どこまで進んだか、
⑥次に何をやるか、
⑦誰と、どこで、何を、いつ、どのようにするか、
⑧その方法はどうか、
⑨違う・新しい考え、
⑩新たに生まれた疑問

★共有場面

自分と比べて、
③似ている・納得、
④違う・新しい考え、
⑤新たに生まれた疑問、
(別の方法はなかったか)

次の自分の学びにつなげるように自分で向き合おう!

あいづちのわざ

- うんうん
- なるほど、なるほど
- わかる、わかる
- そうなんだあ
- へえ
- だよなあ
- それで、それで
- そっかあ

どんな座って、
あいづちのわざをしよう!!

2年生 国語 「たんぼのちえ」

＜実践＞
・題名や写真、文章から「初めて知った」「すごいと思った」「疑問」などを出し合い、そこから『問い』を作った。
・児童自身に、誰と、どこで、何(それぞれの『問い』)を学ぶのかという選択をさせ、学習を進めた。
＜成果＞
・児童の思いから『問い』を立てたことで、学習が自分事となり学習意欲が高まった。
・誰と何を学ぶかを見童が選ぶことで、活発に学び合う姿が見られ、活動に広がりや深まりが感じられた。
＜課題＞
・文章から必要な情報を読み取る力を伸ばす必要がある。・児童に選択を委ねる際には、よりよい選択とは何かを示す必要がある。



3年生 社会 「安全なくらしを守る」

＜実践＞
・誰と、何人で、どこで、何を(ホワイトボード、タブレット、ノート、付箋紙)使って話し合いをするかという学習形態を委ねることによって、児童が目的に応じて選択できた。
・火災現場の写真から消防署など関係機関の相互の関連を読み取り、グラフの読み取り方の技能を定着させたことで、新聞作りのネタ集めができた。
＜成果＞
・毎時間学習した「分かったこと」が分かり、それに対する振り返りができるシートを活用することで、新聞作りのネタ集めができた。
・資料の読み取りや日常生活と結びつけて学習問題を立てるということを学ぶ機会になった。
＜課題＞
・社会科として「自ら学ぶ」ためにはどのような「委ね」が必要か、検討していきたい。



5年生 国語 「あなたは、どう考える」

＜実践＞
・誰に向けてどのような意見文を書くのか、一人一人が設定した。
(伝える相手：家族、友達、学校、区、国など)
・より良い意見文を書くための学習計画、指標となるチェックシートを見童と作成した。
・一人一人の学習進度からやることを選択させ、一緒に学ぶ人や学習方法を委ねた。
('インターネットを使って根拠を増やしたい')、「予想される反論を友達に聞いてみたい」)
＜成果＞
より良い意見文にするために、主体的に多くの情報を集め、文章を見直し改善することができた。
＜課題＞
題材設定の工夫が必要。選んだ題材によっては意見を求めることか難しいものもあった。



6年生 算数 「データの調べ方」

＜実践＞
・振り返りを活用して課題を明確にすることで、児童が本時の見通しがもてるようにした。
・「このグラフが優勝するか予想しよう」というひとつの問いを最初から一貫して問い続け、答えを導き出すために何が必要かを確認できる授業を展開した。
・児童の意欲を高めるために、評価基準をあらかじめ提示した。
＜成果＞
児童が授業全体を見通しながら学習を進めることができた。さらに、根拠をもって自分の意見を伝え合うことができた。
＜課題＞
算数としての批判的思考力も育てていきたい。



卒業によせて〈6年生〉

【1組】

～「卒業」への思いを川柳にこめて～

- | | |
|------------------------|---------------------|
| ・さようなら 高ワソ松ビヨソ ありがとう | ・高小に 育ててもらった 6年間 |
| ・さくらの木 ぼくたちとともに 伸びてゆく | ・6年間 とっくにすぎた もう終わり？ |
| ・お別れだ 6年使った ランドセル | ・学年が 六から急に 一年生 |
| ・門出の日 あの木の下で また会おう | ・さようなら 高松小の 窓景色 |
| ・旅立つ日 未来の自分 歩みだす | ・分かれ道 最後のあいさつ また今度 |
| ・はかま着て 友と一緒に 卒業だ | ・忘れない みんなとの日々 ありがとう |
| ・旅立ち は 空に誓った 「またいつか…」 | ・六年で 小さくなった ランドセル |
| ・帰り道 友と帰った 思い出だ | ・よく目立つ 黄色い校ぼう かぶれない |
| ・門出の日 桜が咲けば いいのにな | ・新しい 未来の扉 今開く |
| ・もう聞けない 教室での 皆の声 | ・この景色 見れなくなるの さみしいな |
| ・ありがとう 毎日登校 筆箱くん | ・この春の 門出と共に 桜咲く |
| ・友達と 過ごした日々が 恋しいな | ・最後まで 使った私の ランドセル |
| ・ぼくたちが 未来のバトソ わたすばん | ・いつかまた 必ず会おう 桜の木 |
| ・最後の日 元気にあいさつ 「さようなら！」 | ・もうあえない 黄色のうさぎと 青の犬 |
| ・別れ道 笑った日々を 思い出す | ・今までの 思い出つめた ランドセル |
| ・家に着く 次はいつかな じゃあまたね | ・高小に あと数回の また明日 |
| ・さようなら もう歩けない 通学路 | ・友達と 最後に見つめる 桜の木 |
| ・たいへんな かいだんのぼり おわりだな | ・六年の プログラムとも おわかれだ |



【2組】

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ・6年間 友と話した 中休み | ・目を閉じて そっと開けば もう別れ |
| ・いつまでも 小学生で いたいのにな | ・卒業後 友と最後の 帰り道 |
| ・今までの 楽しい思い出 色褪せず | ・6年間 仲間と共に 過ごした日 |
| ・友達と いつも歩いた 通学路 | ・思い出は 戻れないから 味が出る |
| ・このクラス 最高だった 忘れない | ・いよいよだ 自分の番の 卒業式 |
| ・旅立ちだ 友とお別れ 感動だ | ・約4年 とともに学んだ タブレット |
| ・大好きな みんなと最後の はいチーズ | ・最後の日 思い出詰め込む ランドセル |
| ・6年間 ともに歩いた ランドセル | ・6年間 友と帰った 帰り道 |
| ・またいつか この学び舎に ありがとう | ・最後の日 サヨナラではなく ありがとう |
| ・ランドセル この6年間 ありがとう | ・これまでの 感謝を抱え 行く未来 |
| ・忘れない あの思い出は 宝物 | ・まさヒーロー みんなの記憶に 刻まれる |
| ・知らぬ間に 0に変わった カレンダー | ・それぞれの 未来へ飛び立つ 渡り鳥 |
| ・卒業後 緊張ほぐれて 泣いちゃいそう | ・これからは 僕にもうない 校章が |

- ・踏み出した 新たな未来へ 旅立つ日
- ・自分だけ 社会科見学 紅白帽
- ・6年間 いつの間にか 過ぎていく
- ・お別れを 実感できずに さようなら
- ・門出の日 友と交わす さようなら
- ・卒業式 最後の校歌 心して

- ・卒業式 友と一緒に 今旅立つ
- ・ありがとう お世話になった 人たちに
- ・校帽も 俺と一緒に 卒業だ
- ・いつまでも 覚えていたい 今日のこと
- ・かなしいな 別れたくない この気持ち



【3組】

- ・東門 毎日通る 大開門
- ・ランドセル ぼろぼろぐちゃぐちゃ バツキバキ
- ・ランドセル 6年間 ありがとう
- ・散る桜 僕と一緒に 卒業式
- ・また一歩 夢に向かって 走り出す
- ・桜の木 風に吹かれる 卒業式
- ・友だちに 別れを告げる さようなら
- ・この身として 思い残さず いざさらば
- ・卒業式 思い出浮かび 帰路つけぬ
- ・卒業式 桜が散って 旅立ちだ
- ・六年の 思い出映る この涙
- ・六年生 まだピカピカの ランドセル
- ・卒業し 中学生活 待ってるよ
- ・目を閉じて ぼやけ見えるは 卒業生
- ・桜散る 旅立ちの日へ 飛んでいく
- ・卒業で 赤飯食べる 祝福だ
- ・桜咲き 新たな一歩 門出の日
- ・朝と夕 毎度通るの 東門
- ・我が友よ 最後は笑顔で またいつか
- ・ありがとう ずっと一緒にの ランドセル
- ・卒業式 涙をぬぐう 母の顔

- ・思い出が ふとよみがえる 卒業式
- ・卒業式 桜とともに さようなら
- ・最後の日 あふれる思い 涙あり
- ・思い出が こぼれるように 溢れてく
- ・六年の 学びを活かし 入学だ
- ・卒業し 次に託して 中学へ
- ・ありがとう 高松小と 仲間たち
- ・泣き笑い 沢山思い出 蘇る
- ・帰り道 授業も遊びも もう最後
- ・友達と 遊んだ思い出 宝物
- ・オリジナル 問題多すぎ 修正多
- ・桜咲く 今日で最後の 小学校
- ・帰り道 隣で泣いてる 誰かさん
- ・もう言えない いつも言ってる また明日
- ・卒業式 六年間の 最終章

